

ひがしくるめししょうがいしゃしさく かん 東久留米市障害者施策に関する ちょうさ アンケート調査について

みなさまには、日頃より本市の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、令和3年度を初年度とする「東久留米市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」の策定にあたり基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは、みなさまの日頃の生活状況や、市の障害福祉施策に対するご意見などをお聞かせいただくことで、現状の把握及びニーズ分析を行い、計画策定に活用させていただきます。

アンケートは、市内にお住まいで、障害に関する手帳をお持ちの方などにお送りしています。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をお汲み取りいただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

れいわ ねん がつ
令和2年6月

しちよう なみきかつみ
市長 並木克巳

※ なお、お答えいただいた内容は、プライバシーの保護に万全を期するとともに、アンケート結果の集計以外には使用いたしません。

●記入について

・事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の立場に立ってご記入ください。

・回答は、あてはまる番号を「○」で囲んでください。

●調査票の返信について

・ご記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和2年7月14日（火）までに投函してください。

と あ さき お問い合わせ先

ひがしくるめし しょうがいふくしか
東久留米市 障害福祉課

TEL：042-470-7747

FAX：042-475-8181

あなた（あて名のご本人）自身について

問1 この調査票にご回答いただくのは、どなたですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 あて名のご本人 | 2 ご家族や支援者が本人に聞いて代筆 |
| 3 ご家族や支援者が本人の意向を 考 えて代筆 | 4 その他（ ） |

※これ以降、この調査票が郵送されたあて名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（アンケートの対象者＝障害のある方）の状況などについて、お答えください。

問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。（○は1つ）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問3 あなたの年齢（令和2年7月1日現在）をお答えください。

（ ） 歳

問4 あなたのお住まいをお聞きます。（○は1つ）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 第1ブロック（上の原、神宝町、金山町、氷川台） |
| 2 第2ブロック（大門町、新川町2丁目、浅間町） |
| 3 第3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町） |
| 4 第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目） |
| 5 第5ブロック（中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目） |
| 6 第6ブロック（学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町） |
| 7 第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生） |
| 8 第8ブロック（下里2～6丁目、柳窪） |
| 9 市外（入所施設、グループホーム等） |

問5 あなたはどのような暮らし方をしていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 家族と暮らしている | 2 一人暮らしをしている |
| 3 グループホーム等で暮らしている | 4 施設に入所している |
| 5 その他（ ） | |

問5で「1 家族と暮らしている」か「2 一人暮らしをしている」に○をつけた方にお聞きします。

問5-1 あなたのお住まいの種類はどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 持ち家の戸建て住宅 | 2 持ち家の集合住宅(マンション・アパート等) |
| 3 賃貸の戸建て | 4 賃貸の集合住宅(マンション・アパート等) |
| 5 公営住宅(都営・公社住宅) | 6 社宅・公務員住宅等 |
| 7 その他() | |

あなたの障害の状況について

問6 あなたが持っている手帳の種類と等級、診断の有無をお聞きします。あてはまる手帳の番号と、カッコ内の等級(度数)に○印をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 身体障害者手帳 | →(1級 2級 3級 4級 5級 6級) |
| 2 愛の手帳(療育手帳) | →(1度 2度 3度 4度) |
| 3 精神障害者保健福祉手帳 | →(1級 2級 3級) |
| 4 発達障害の診断を受けている | |
| 5 難病の認定を受けている | |

難病の認定：この場合、東京都の難病医療費助成を受給している方を指します。

問6で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

問6-1 障害の種類は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|------------------|
| 1 肢体不自由(上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害) | 2 音声・言語・そしゃく機能障害 |
| 3 視覚障害 | 4 聴覚・平衡機能障害 |
| 5 内部障害(心臓機能障害・腎臓機能障害・呼吸器機能障害・膀胱・直腸機能障害・小腸機能障害・免疫機能障害・肝臓機能障害) | |

問7 あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------|---------------|
| 1 親(父・母) | 2 配偶者(夫・妻) | 3 子(子の配偶者を含む) |
| 4 祖父母 | 5 兄弟姉妹 | 6 その他の親族 |
| 7 近隣の人・知人・友人 | 8 ホームヘルパー | 9 ボランティア |
| 10 施設・病院等の専門介助者 | 11 介助は必要ない | 12 その他() |

問8 普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。

主な介助者の方が困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 代わりの介助を頼める人がいない | 2 休養や息抜きの時間がない |
| 3 長期の旅行や外出ができない | 4 仕事に出られない |
| 5 介助者自身の健康に不安がある | 6 身体的な負担が大きい |
| 7 精神的な負担が大きい | 8 経済的な負担が大きい |
| 9 特に困っていることはない | 10 その他（ ） |

問9 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 受けていない | 2 経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう） |
| 3 吸引（口腔内・エアウェイ内・気管内） | 4 酸素管理 |
| 5 エアウェイの管理 | 6 導尿 |
| 7 気管切開部の衛生管理 | 8 胃ろう・腸ろう部の衛生管理 |
| 9 中心静脈栄養 | 10 人工透析 |
| 11 定時の薬液吸入 | 12 人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等 |
| 13 その他（ ） | |

にちじょうせいかつ

日常生活について

問10 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 治療・訓練のこと | 2 仕事や収入・生活費のこと |
| 3 日常会話・コミュニケーションのこと | 4 学習活動や趣味の活動など |
| 5 友人関係、近所づきあい | 6 将来の生活のこと |
| 7 外出・買い物など | 8 保健・医療サービスに関すること |
| 9 住宅・生活の場所のこと | 10 福祉サービスに関すること |
| 11 進学・学校生活のこと | 12 交通機関の利用に関すること |
| 13 金銭管理・契約などのこと | 14 身体・健康のこと |
| 15 結婚、性、恋愛などに関すること | 16 親や介助者の高齢化のこと |
| 17 相談できる人がいない（限られている） | 18 特にない |
| 19 その他（ ） | |

とい 問11 あなたは今後、どのような生活の場で暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 家族と暮らしたい | 2 一人暮らしをしたい |
| 3 グループホームで生活したい | 4 障害者（児）のための入所施設で生活したい |
| 5 わからない | 6 その他（ ） |

とい 問12 あなたは、普段どれくらい外出しますか。（○は1つ）

- | | |
|--------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に数回 |
| 3 月に数回 | 4 ほとんど外出しない |

とい 問13 普段外出するときに、困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない | |
| 2 バスや電車などの乗り降りが難しい | 3 道路や駅に階段や段差が多い |
| 4 切符の買い方や乗換えがわかりにくい | 5 トイレやエレベーターなどの建物の設備が不便 |
| 6 介助者が確保できない | 7 交通費（運賃など）にお金がかかる |
| 8 ヘルパーの利用料などにお金がかかる | 9 周囲の目が気になる |
| 10 周囲の人からの配慮・手助けがない | 11 発作など突然の体調不良が心配 |
| 12 困った時にどうすればよいか心配 | 13 休憩できる場所が少ない |
| 14 特にない | 15 その他（ ） |

とい 問14 あなたが生活していく上での収入は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 勤め先の給与・賃金 | 2 通所施設・事業所などの賃金・工賃 |
| 3 事業収入（自営業など） | 4 財産収入（家賃収入など） |
| 5 年金・手当など | 6 家族の収入・親戚などの援助 |
| 7 生活保護費 | 8 その他（ ） |

しょうがい りかい 障害への理解について

問15 お住まいの地域及び職場で、障害者（児）への理解が10年前に比べて深まっていますか。（○は1つ）

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

問16 あなたは、ヘルプカード、ヘルプマークを知っていますか。（それぞれに○は1つ）

①ヘルプカード	1 内容まで知っていた	2 名前を聞いたことがある	3 知らなかった
②ヘルプマーク	1 内容まで知っていた	2 名前を聞いたことがある	3 知らなかった

ヘルプカード・ヘルプマーク

市では、障害のある方や難病に罹患している方が、日常で困った際に、また災害時や緊急時に、周囲の人に支援や配慮をお願いしやすくするため、ヘルプカードを作成しました。ヘルプマークは、都が普及を進めているもので、全国共通のマークとなっています。

問17 「障害者虐待防止法」により、家庭、職場及び障害者施設において障害者（児）の虐待を発見した市民には、通報義務があることを知っていましたか。（○は1つ）

- 1 知っていた 2 知らなかった

問18 あなたは、「障害者差別解消法」について知っていましたか。（○は1つ）

- 1 内容まで知っていた 2 名前を聞いたことがある 3 知らなかった

障害者虐待防止法（障害者虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）

障害のある人に対する虐待は、個人の尊厳を侵害するものであり、障害者の自立や社会参加にとって大きなさまたげとなります。障害者への虐待の防止や養護者に対する支援に取り組むため、平成24年10月に施行されました。

障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）

障害を理由とする差別の解消を推進することにより、「すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現」を目指し、平成25年6月に公布され、同28年4月から施行されています。

問19 障害者（児）に対する差別・偏見があると思いますか。（○は1つ）

- 1 ある 2 ない

問19で「1 ある」に○をつけた方にお聞きします。

問19-1 障害者（児）に対する差別・偏見、または理解のなさはどのようなところにあると思いますか。具体的な内容もお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 仕事 | 2 建物の構造 |
| 3 地域の人との接し方や態度 | 4 収入 |
| 5 交通機関 | 6 教育の機会 |
| 7 お店等の店員の対応や態度 | 8 行政職員の対応や態度 |
| 9 保育所や学校の対応 | 10 その他 |

具体的に：

問20 あなたは、地域の人たちの障害に対する理解を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 地域行事への障害者（児）の参加を促進するなど、地域住民等との交流の場を増やす
- 学校でのインクルーシブ教育※や障害に関する教育の推進
- 障害についての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催
- 障害者作品展や障害者（児）と交流するイベントの開催
- 障害者（児）の生活や障害についての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行
- 障害者の一般企業への就労の促進
- 特にない
- その他（ ）

※障害の有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、地域の通常学級で学べることを目指すこと

ちいき せいかつ 地域での生活について

問21 あなたは、普段、近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 いえ いく 家をいき来するつきあい | 2 た ばなし ちいど 立ち話をする程度のつきあい |
| 3 あいさつをする程度のつきあい | 4 ほとんどつきあいはない |

問22 障害者（児）が入所施設で生活するのではなく、今後、住み慣れた地域で暮らしていくことについてどう思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 とく もんだい 特に問題はない | 2 ちいき く むずか おも 地域で暮らすのは難しいと思う |
| 3 わからない | 4 その他（ ） |

ちいきこう 地域移行

本人の希望に沿って入所・入院施設から一般の住居やグループホーム等、生活の拠点を地域の中に移していくことを、「地域移行」といいます。

問23 あなたは、障害者（児）が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。（特に必要と思われるもの3つまで○）

- | | |
|---|--|
| 1 ちいきせいかつ りよう かん そうだんしえん 地域生活やサービス利用に関する相談支援 | 2 ほうもんけい じゅうじつ 訪問系サービスの充実 |
| 3 にっちゅう かつどう くんれんばしょ さぎょうしょ じゅうじつ 日中の活動・訓練場所や作業所の充実 | 4 かくじゅう グループホームの拡充 |
| 5 しゅわ しえん 手話などによるコミュニケーションの支援 | 6 しょうがいしゃ じゅうたく かくほ 障害者のための住宅の確保 |
| 7 りよう いりょうきかん 利用しやすい医療機関 | 8 いっぱんしゅうろう しえん 一般就労するための支援 |
| 9 こうつうきかん しせつ か 交通機関や施設などのバリアフリー化 | 10 ちいき ひと しょうがい たい りかい 地域の人たちの障害に対する理解 |
| 11 とく ひつよう 特に必要なことはない | 12 その他（ ） |

ほうもんけい 訪問系サービス

居宅介護（ホームヘルプ）や行動援護（主に知的障害がある方が外出する際のガイドヘルプ）など、サービス提供者が利用者の自宅等を訪問して提供されるサービスです。

問24 あなたは、相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に、特にどのような場合に困難を感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 飲食店を利用する時 | 2 初めて行くところに出かける時 |
| 3 銀行を利用する時 | 4 病院にかかった時 |
| 5 旅行をする時 | 6 買い物をする時 |
| 7 スポーツやレクリエーションに参加する時 | 8 家を探す時 |
| 9 仕事をする時 | 10 その他（ ） |

問25 あなたは、成年後見制度について知っていますか。また、利用したことはありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 知っており、利用したことがある | 2 知っているが、利用したことはない |
| 3 知らない | |

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々のために、不動産や預貯金などの財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を代わりに行ったり、悪質商法の被害等から守ったりするための制度です。

しゃかいさんか 社会参加について

問26 これまでに余暇活動、文化芸術・スポーツ活動など、参加したことがあるものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 | 2 スポーツ活動 |
| 3 旅行 | 4 学習や趣味の活動 |
| 5 ボランティアなどの社会貢献活動 | 6 地域での交流、自治会などの活動 |
| 7 障害者団体などの活動 | 8 パソコンを使った活動 |
| 9 特にない | 10 その他（ ） |

問27 今後参加したい余暇活動、文化芸術・スポーツ活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 | 2 スポーツ活動 |
| 3 旅行 | 4 学習や趣味の活動 |
| 5 ボランティアなどの社会貢献活動 | 6 地域での交流、自治会などの活動 |
| 7 障害者団体などの活動 | 8 パソコンを使った活動 |
| 9 特にない | 10 その他（ ） |

問28 あなたが余暇活動、文化芸術・スポーツ活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 活動情報の提供がある | 2 友人や仲間がいる |
| 3 身近なところで活動できる | 4 外出手段が確保されている |
| 5 介助者がいる | 6 適切な指導者やリーダーがいる |
| 7 障害に配慮した施設や設備がある | 8 経済的な負担が少ない |
| 9 家族や周囲の人の理解 | 10 心身の健康状態の維持・向上 |
| 11 いろんな人との出会いの場・機会がある | 12 障害のある人もない人も一緒にできる |
| 13 施設の予約が取りやすい | 14 手話などによるコミュニケーションの支援 |
| 15 特にない | 16 その他（ ） |

さいがい そな 災害への備えについて

問29 火事、台風や地震などが起こったとき、障害があることで困ること、心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1 どのように対応すべきか自分で判断できない |
| 2 周りの人に援助を求めることができない |
| 3 安全なところまで、すばやく避難できない |
| 4 補装具（車いす、補聴器、白杖、義足など）が使用しづらくなる |
| 5 補装具（車いす、補聴器、白杖、義足など）や日常生活用具を手に入れにくくなる |
| 6 必要な治療・医療的ケアが受けられない、薬がもらえない |
| 7 被害状況、避難場所などの情報が手に入れない |
| 8 避難所での集団生活が不安 |
| 9 周囲とコミュニケーションがとれない |
| 10 特にない |
| 11 その他（ ） |

問30 避難を手助けしてくれる人はいますか。また、それはどなたですか。

手助けしてくれる人 (○は1つ)	それはどなたですか (あてはまるものすべてに○)	
1 いる	1 家族	2 近くに住む親族
2 いない	3 施設の職員	4 隣近所の住民
	5 自主防災組織の人	6 自治会の人
3 わからない	7 民生委員・児童委員	8 その他 ()

問31 災害時要援護者登録制度を知っていますか。また、登録はしていますか。(○は1つ)

1 知っており登録している
2 知っているが自分で避難できるので登録していない
3 知っているが家族が助けてくれるので登録していない
4 知っているが他人に迷惑をかけたくないので登録していない
5 知っているが他人に自分の障害を知られたくないので登録していない
6 知らない

災害時要援護者登録制度

災害時に、家族等の支援が困難で何らかの助けを必要とする重度の障害者やひとり暮らし高齢者などの災害時要援護者を登録し、災害が起きた時に地域の方から支援を受けられるようにするための制度です。

問32 災害時、身近な人や地域に向けて「あなたが出来る支援」は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 安否確認・声かけ	2 家族への連絡
3 安全な場所への避難誘導	4 応急手当
5 情報提供	6 相談・話し相手
7 協力(支援)は困難	8 わからない
9 その他 ()	

障害福祉サービスなどについて

問33 あなたは普段、次のような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。（それぞれに○は1つ）

※サービスの内容については、20 ページをご覧ください。

区 分		利用しており、今後も利用したい	今は利用していないが3年以内に利用したい	利用の予定はない
訪問系サービス	①居宅介護（ホームヘルプ）	1	2	3
	②重度訪問介護	1	2	3
	③同行援護	1	2	3
	④行動援護	1	2	3
日中活動系サービス	①生活介護	1	2	3
	②自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	2	3
	③就労移行支援	1	2	3
	④就労継続支援（A型）	1	2	3
	⑤就労継続支援（B型）	1	2	3
	⑥就労定着支援	1	2	3
	⑦療養介護	1	2	3
	⑧短期入所（ショートステイ）	1	2	3
	⑨児童発達支援（医療型含む）	1	2	3
	⑩放課後等デイサービス（医療型含む）	1	2	3
	⑪保育所等訪問支援	1	2	3
居住系サービス	①自立生活援助	1	2	3
	②共同生活援助（グループホーム）	1	2	3
	③施設入所支援	1	2	3

区 分		利用しており、今後も利用したい	今は利用していないが3年以内に利用したい	利用の予定はない
その他	①相談支援事業	1	2	3
	②意思疎通支援事業 (主に聴覚障害者への手話通訳の派遣)	1	2	3
	③日常生活用具給付等事業	1	2	3
	④移動支援事業(外出時のガイドヘルプ)	1	2	3
	⑤日中一時支援事業(緊急一時保護)	1	2	3
	⑥補装具費(車いす・補聴器等)の給付	1	2	3

問34 あなたは、普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 制度がわかりにくい	2 利用したいサービスを利用できない
3 利用できる回数や日数が少ない	4 サービスの質について困っている
5 他の利用者との関係が大変	6 市役所での手続きが大変
7 事業所との日時などの調整が大変	8 事業所への移動が大変
9 経済的負担が大きい	10 利用したい内容のサービスがない
11 特に困っていることはない	12 その他()

問35 あなたは、普段受けている障害福祉サービスに、満足していますか。(○は1つ)

1 必要なサービスを受けられており大いに満足
2 ほぼ必要なサービスを受けられており満足
3 ほぼ必要なサービスを受けられているがサービスの質に満足できない
4 必要なサービスが十分に受けられず不満足
5 受けたいサービスが地域になく不満足
6 現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない

問35で「4」か「5」に○をつけた方にお聞きします。

問35-1 地域の中で、障害者（児）に関するサービスのうち何が不足していると思いますか。

40歳以上の方にお聞きします。

問36 介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方は該当する要介護度（要支援）に○をつけてください。（○は1つ）

1 認定を受けていない	2 要支援1	3 要支援2
4 要介護1	5 要介護2	6 要介護3
7 要介護4	8 要介護5	

40歳以上の方にお聞きします。

問36-1 介護保険のサービスを受けるにあたり、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 利用者負担が増えること
2 利用時間が少なくなること
3 これまで利用していた事業所が使えなくなること
4 これまで利用していた障害福祉の類似サービスよりも質が下がること
5 特になし
6 その他（ ）

こよう しゅうろう 雇用・就労について

あなた（あて名のご本人）が18歳以上の場合のみお答えください

問37 あなたは普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。（○は1つ）

1 正社員として働いている	2 パート・アルバイトなどで働いている
3 自営業などを営んでいる	4 福祉的就労をしている（福祉作業所など）
5 福祉的就労以外の通所施設に通っている	6 自宅で家事や手伝いをしている
7 学校などに通っている	8 就業訓練中・就職活動中
9 特に何もしていない	10 その他（ ）

問37で「1」～「4」に○をつけた方にお聞きします。

問37-1 あなたが仕事をする上で困っていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 給与・工賃などの収入が少ない | 2 通勤が大変 |
| 3 身体的な負担が大きい | 4 精神的な負担が大きい |
| 5 障害に対する職場の理解が不足している | 6 職場の人間関係 |
| 7 仕事が自分には合わない | 8 特に困っていることはない |
| 9 その他（ ） | |

問37で「5」～「6」、「9」に○をつけた方にお聞きします。

問37-2 あなたが就労していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 障害や病気が重いから | 2 高齢だから |
| 3 自分に合った仕事が見つからないから | 4 希望に合った求人が見つからないから |
| 5 働くための知識や能力に自信がないから | 6 職場の障害理解に不安があるから |
| 7 通勤が困難だから | 8 仕事以外のことをしたいから |
| 9 わからない | 10 その他（ ） |

全ての方にお聞きします。

問38 あなたは、就労していくためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-----------------------------|
| 1 仕事探しから就労までの総合的な相談支援 |
| 2 働くための知識や能力を身につけるための訓練 |
| 3 職場を理解するための就労体験 |
| 4 障害の特性にあった職業・雇用の拡大 |
| 5 障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ |
| 6 職場のバリアフリー化 |
| 7 障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制 |
| 8 ジョブコーチや介助者などの職場に定着するための支援 |
| 9 その他（ ） |

あて名のご本人が18歳以上の方は18ページに進んでください。

しょうがいじふくし 障害児福祉について

あて名のご本人が 18歳未満の場合のみお答えください。

問39 あなた（あて名のご本人）は普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。（○は1つ）

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている | |
| 2 | 特別支援学校（小中高部）に通っている | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 1 特別支援学級
2 通常学級・通級 </div> |
| 3 | 小学校、中学校、高等学校（2を除く）に通っている | |
| 4 | 自宅で過ごしている | |
| 5 | 入所している施設や病院などで過ごしている | |
| 6 | その他（ ） | |

問40 あなた（あて名のご本人）の障害に気づいたきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|-------------------|---|------------|
| 1 | 病院などの医療機関による受診・健診 | 2 | 市が実施する健診 |
| 3 | 小学校で実施する就学時健康診断 | 4 | 幼稚園、保育所の助言 |
| 5 | 学校の助言 | 6 | 家族による気づき |
| 7 | その他（ ） | | |

問41 あなた（あて名のご本人）は普段、放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|----|------------|----|--------|
| 1 | 幼稚園、保育所 | 2 | 学童クラブ |
| 3 | 児童館 | 4 | プレーパーク |
| 5 | 放課後等デイサービス | 6 | 公園等 |
| 7 | 学校の部活動 | 8 | 塾・習い事 |
| 9 | 地域のスポーツクラブ | 10 | 自分の家 |
| 11 | 友達の家 | 12 | その他（ ） |

問42 幼稚園、保育所、通園施設などに通ううえで重要と思われるものをお答えください。
(○は3つまで)

- 1 送迎など、通園・通学のサポート
- 2 学習支援や介助など、園・学校生活のサポート
- 3 生活訓練や職業訓練など、専門的な指導
- 4 投薬や喀痰吸引など、医療的なケア
- 5 福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携
- 6 子ども同士の理解を深める交流機会を増やす
- 7 保育施設や学校施設のバリアフリー化
- 8 就学相談や進路相談を積極的に行う
- 9 通常の学級への受け入れを進める
- 10 放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす
- 11 その他 ()

問43 今の学校の卒業後について、希望する進路はどれですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 訓練や作業指導を受けられる施設に通いたい | 2 入所して、訓練などを受けたい |
| 3 企業などへ就職したい | 4 職業訓練校で訓練を受けたい |
| 5 上級学校に進学したい | 6 まだ考えていない |
| 7 その他 () | |

問44 保護者の方は、あなた(あて名のご本人)の現在または将来について、どのような不安や悩みを抱えていますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 本人の習熟度にあった勉強指導 | 2 学校での集団生活や人間関係 |
| 3 学校生活に関する相談 | 4 適性に合った進路の相談支援 |
| 5 進学等の環境変化に伴う本人の適応性 | 6 進学時における教員間での引継ぎ |
| 7 教職員の障害に対する理解 | 8 教育・保育施設での医療的ケアの対応 |
| 9 長期休暇時の子どもの過ごし方 | 10 通学時の送迎 |
| 11 適性に合った就職先の紹介 | 12 就職に必要な技術等の訓練の機会 |
| 13 就職に関する総合的な相談支援 | 14 特になし |
| 15 その他 () | |

ひがしくるめし しょうがいふくししさく 東久留米市の障 害福祉施策について

問45 福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。（〇は3つまで）

1 市や社会福祉協議会等の広報紙	2 声の広報
3 テレビやラジオ	4 新聞・雑誌
5 インターネット	6 障害者団体
7 民生委員・児童委員、身体・知的障害者相談員	8 ホームヘルパー
9 家族・親戚	10 友人・知人
11 医療機関	12 市や都の窓口
13 障害者の福祉施設	14 情報は得られていない
15 その他（ ）	

問46 次の障害者（児）に関する市の相談窓口を知っていますか。また、それらを利用したことはありますか。（①～⑩までそれぞれに〇は1つ）

	知っており、 利用したことがある	知っていた が、利用した ことはない	知らない
①さいわい福祉センター	1	2	3
②地域生活支援センターめるくまー	1	2	3
③障害者就労支援室「さいわい」「あおぞら」	1	2	3
④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）	1	2	3
⑤障害者虐待防止センター（市障害福祉課）	1	2	3
⑥社会福祉協議会	1	2	3
⑦児童発達支援センターわかくさ学園発達 相談室（児童）	1	2	3
⑧教育センター（児童）	1	2	3
⑨滝山教育相談室（児童）	1	2	3
⑩当事者団体等によるピアカウンセリング等	1	2	3

問47 今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり | 2 特別支援教育のいっそうの充実 |
| 3 教育と福祉の連携を強めること | 4 障害児の放課後や余暇活動の充実 |
| 5 成人期の余暇活動の場づくり | 6 障害者（児）への虐待の予防・権利擁護 |
| 7 障害者の就労支援の充実 | 8 障害児保育の充実等による親の就労支援 |
| 9 就労系事業所の定員の拡大 | 10 重度の障害者（児）の日中活動の充実と場所の確保 |
| 11 在宅でも医療を受けられる体制づくり | 12 グループホームの施設整備 |
| 13 バリアフリーのまちづくり | 14 障害特性に応じた情報提供 |
| 15 相談支援体制の強化 | 16 障害者（児）への理解を深めるための講習やイベント |
| 17 研修等による支援者やボランティアの育成 | 18 災害時の支援 |
| 19 その他（ | ） |

東久留米市の障害福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返信用封筒に入れて、
令和2年7月14日（火）までにポストへ入れてください。

★サービスの概要（12 ページ間の33 の回答の参考にしてください。）

きょたくかいご 居宅介護（ホームヘルプ）	じたく にゅうよく はいせつ しょくじ かいごとう おこな 自宅で入浴、排泄、食事の介護等を行います。
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	じゅうど したいふじゅうしゃ じゅうど ちてきしょうがいしゃ せいしんしょうがい 重度の肢体不自由者または重度の知的障害者もしくは精神障害によ り常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排泄、食事の介護、外出 時における移動支援、入院時の支援等を総合的に 行います。
こうどうえんご 行動援護	ちてきしょうがい せいしんしょうがい こうどうじょういちじる ごんなん ゆう ひと たい 知的障害・精神障害により行動上 著しい困難を有する人に対する 外出時の準備、移動中の介護を行います。
どうこうえんご 同行援護	しかくしょうがい いどう いちじる ごんなん ゆう ひと がいしゅつ 視覚障害により、移動に 著しい困難を有する人が外出するとき、 必要の情報提供や介護を行います。
せいかつかいご 生活介護	つね かいご ひつよう ひと ひるま にゅうよく はいせつ しょくじ かいごとう おこな 常に介護を必要とする人に、昼間に入浴、排泄、食事の介護等を行 うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供します。
じりつくんれん 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	じりつ にちじょうせいかつまた しゃかいせいかつ いっていきかん しんたいきのう 自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能ま たは生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
しゅうろういこうしえん 就労移行支援	いっばんきぎょうとう しゅうろう きぼう ひと いっていきかん しゅうろう ひつよう ちしきお 一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及 び能力の向上のために必要な訓練を行います。
しゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援 (A型・B型)	いっばんきぎょうとう しゅうろう ごんなん ひと はたら ば ていきょう ちしき 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識 及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
しゅうろうていちゃくしえん 就労定着支援	しゅうろういこうしえんとう りよう へ いっばんしゅうろう ひと しゅうろう ともな かんきょう 就労移行支援等の利用を経て一般就労した人で、就労に伴う環境 変化により生活面等の課題が生じている人に対し、課題解決に向けて 必要となる支援を行います。
りょうようかいご 療養介護	いりよう じょうじかいご ひつよう ひと いりようきかん きのうくんれん りょうようじょう 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の 管理、看護、介護及び日常生活の世話を 行います。
たんきにゅうしょ 短期入所 (ショートステイ)	じたく かいご ひと びょうき ばあい たんきかん やかん ふく しせつ 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、 入浴、排泄、食事の介護等を行います。
じどはつつしえん 児童発達支援	しょうがい じ くにちじょうせいかつ きほんてき どうさ しどう ちしきぎのう ふ 障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、 集団生活への適応訓練等を行います。
ほうかごとう 放課後等デイサービス	しゅうがく しょうがい じゅぎょう しゅうりょうご きゅうぎょう び せいかつのうりよく 就学している障害児につき、授業の終了後または休業日に生活能力の 向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等のサービスを行います。
ほいくしょう 保育所等訪問支援	ほいくしょう た じどう しゅうだんせいかつ いとな しせつとう かよ しょうがい 保育所その他の児童が集団生活を営む施設等に通う障害児につき、 当該施設を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための 専門的な支援を行います。
じりつせいかつえんじょ 自立生活援助	しょうがいしゃしえんしせつ どう りよう ひと おこな 障害者支援施設やグループホーム等を利用していた人でひとり暮らし を希望する人に対し、定期的に居宅を訪問し、必要な助言や医療機関等 との連絡調整を行います。
きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助 (グループホーム)	やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきょ にゅうよく はいせつ しょくじ かいごとう 夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排泄、食事の介護等を行 います。
しせつにゅうしよしえん 施設入所支援	しせつ にゅうしよ ひと やかん きゅうじつ にゅうよく はいせつ しょくじ かいごとう おこな 施設に入所する人に、夜間や休日に入浴、排泄、食事の介護等を行います。